

ブラウンスイス牛乳・乳製品等展示即売会実施要領

「第16回全日本ホルスタイン共進会」附帯行事

1. 目 的

ブラウンスイス種に関する理解を深めるとともに牛乳・乳製品等の消費拡大を目的に実施する。

2. 主 催

北海道ブラウンスイス協議会

3. 期 日

令和7年10月23日(木)から26日(日)9時から17時まで
但し、26日は午前12時まで

4. 会 場

勇払郡安平町新栄 北海道ホルスタイン共進会場内
酪農資材器具展・技術交流会

5. 出展の範囲

北海道ブラウンスイス協議会の会員で出展を希望するもの

6. 出展の内容と方法

(1) ブラウンスイス牛乳を主要な原料とする牛乳・乳製品等を展示・販売する。

(2) 出展を希望する商品は、卸価格で主催者が買取り、主催者が販売する。また、商品の小売価格は出展者の希望小売価格等を考慮して主催者が決める。

(3) 出展を希望する商品が多い場合は、出展者と主催者の協議により調整する場合がある。

7. 出展希望の申込み

令和7年8月15日(金)までに、出展を希望する商品の種類、金額(卸価格)および数量を事務局に報告する。

事務局：北海道ホルスタイン農業協同組合 後藤(改良課)

TEL011-700-2836・FAX011-726-3124

MAIL goto@holstein.jp

第16回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会（概要）

令和6年（2024年）7月

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会

【開催地事務局】北海道ホルスタイン農業協同組合

全日本ホルスタイン共進会

全日本ホルスタイン共進会（全共）は、「乳牛の美人コンテスト」や「乳牛のオリンピック」に称えられているように、乳牛が、健康で長持ちするために必要な体型の改良度合いを比較展示するために、各都道府県を代表するホルスタイン種を一堂に集めて開催しています。

全共は、第2次世界大戦後の復興も間もない1951年に、神奈川県平塚市で、昭和天皇の行幸を仰いで第1回大会を開催、それ以来、概ね5年毎に、過去13回にわたり酪農主要県で開催しています。

全共はまた、「酪農の祭典」として、全国から多くの酪農家や酪農関係者が集まり、技術研鑽や親睦交流の場としても活用されています。さらに、開催地の関係機関、団体等で構成される実行委員会では、広く一般消費者の皆様に対し、乳牛の改良や飼育技術の向上によって安全かつ安心な生乳を生産供給している「日本の酪農業」に対する理解を深めていただくとともに、牛乳・乳製品の消費拡大や地元農畜産物の宣伝PRのための各種企画が行われてきました。

全日本ホルスタイン共進会の開催状況

回次	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
年次	1951	1956	1961	1966	1970	1975	1981	1985	1990	1995
開催県	神奈川県	静岡県	長野県	福島県	愛知県	兵庫県	群馬県	岩手県	熊本県	千葉県
参加県	30県	36	42	42	44	44	46	44	45	45
出品頭数	157頭	200	226	278	295	291	298	297	293	298
参観者数	10万人	20	30	40	52	20	36	38	64	84

回次	11回	12回	13回	14回	15回	16回（予定）
年次	2000	2005	2010	2015	2020	2025
開催県	岡山県	栃木県	北海道	北海道	宮崎県	北海道
参加県	44	44	中止	42	中止	46
出品頭数	297	303		374		400
参観者数	66	69		6.6		—

皇族：第1回＝天皇陛下、第3回＝皇太子殿下御夫妻・高松宮殿下、第4回＝常陸宮殿下御夫妻・秩父宮殿下、
第5・6回＝秩父宮殿下、第8回＝常陸宮殿下御夫妻、第10・11回＝高円宮殿下御夫妻、第12回＝高円宮妃殿下

注）第13回は、2010年の口蹄疫で1年延期後、2011年の東日本大震災及び福島第一原発事故のため、開催を中止しました。
第15回は、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大から、開催を中止しました。

第16回全共北海道大会

2019年春から猛威を振るった、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年の第15回全共九州・沖縄ブロック大会を中止したため、第16回大会は10年ぶりの開催となります。特に、この10年の後半3～4年間はコロナ禍の影響で、各都道府県の共進会やB&Wショーは中止または制限付きの開催が強いられてきました。このような中、前開催大会（第14回）と同じ「乳牛・酪農の聖地北海道」において、全国から400頭の精鋭牛を迎えて開催できることは、全国の酪農家並びに酪農関係者にとって大きな喜びと希望をもたらすものです。

第 16 回全共では、共進会に特化した大会にするため、地元実行委員会は構成せず、常設施設の活用や開催期間の短縮等によって経費節減と出品負担金の軽減に努めています。更には一般出品枠のほかに J サイア娘牛枠、高校特別枠の設置と 2 歳級クラスの増設等見応えのある内容になっています。また、酪農学園大学と共催による高校生等を対象としたジャジング・リードマンスクールやリードマンコンテスト等の後継者育成プログラム、第 16 回全共開催記念パーティー、全共多回出品者表彰など、魅力あるイベントを多数用意して、皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。

1. 協賛について

本共進会により円滑に開催運営するために、皆様方から協賛金を募集しておりますので、特段のご理解とご支援をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

① 一口 50,000 円

② 協賛の募集期間は、2024 年 7 月 1 日～2025 年 7 月末日まで

2. 出品目録広告掲載について

本共進会をより興味深く参観していただくために、出品牛の血統や能力成績に加えて、酪農関係団体・会社等の有益な広告を掲載して出品目録を作成し、広く配布・頒布する予定です。

つきましては、出品目録への広告掲載を募集しておりますので、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

① 体裁 A4 版（縦長・横組）とし、黒白印刷を原則とします。

② 掲載申込の締切 2025 年 7 月 31 日（木）

③ 原稿提出の締切 2025 年 8 月 20 日（水）

④ 広告料 77,000 円～363,000 円（税込み）

3. 酪農資材器具展・技術交流会について

本共進会は全国から多くの酪農家及び酪農関係者が一堂に介し、乳用牛の日本一を決定する「ホルスタイン共進会」及び、酪農経営や酪農生産業を様々な角度から支える最新の酪農関連機械、器具、資材等の展示と技術交流を通して酪農技術の改善や普及を行う「酪農資材器具展・技術交流会」の催事を開催します。開催主旨等をご理解の上、出展についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

① 出展期間 2025 年 10 月 23 日（木）～26 日（日）4 日間

② 出展時間 10 月 23 日（木）～25 日（土） 9 時 00 分～17 時 00 分

26 日（日） 9 時 00 分～12 時 00 分

③ 出展料 1 小間 264,000 円（税込み）

間口 250 cm×奥行 300 cm×高さ 240 cm

7.5 m² 背面及び側面パネル付き

④ 備品 社名版（たて 30 cm×よこ 150 cm）

電気設備 100V 500W×2 口

長机 1 脚 椅子 2 脚

